

荒子町高坂氏

一家六十人が墓参

高坂弾正一「甲陽軍鑑」の語り手、信玄の四天王。その子孫が前橋市荒子町の高坂氏とわかり、長野市の墓へお詣りした。(一〇・二九)

(昭和四八年度下半期東日本篇 歴史ニュース総集成、神谷次郎著、国立国会図書館)

前橋市荒子町には高坂姓が 50 軒余あるが、先祖は武田信玄の四天王の 1 人、高坂弾正昌信だといわれている。天目山の戦いに敗れ高坂弾正は信長の目のかすめるため一たん信州にかくれ、さらに武州にかくれた。東上線高坂駅がその地という。ついで赤城山麓荒子村に帰農した。菱の四ッ目を使用しているが、信玄からもらった武田菱によく似た紋である。この武田菱の紋を使う宮田、早田、井田と武田信玄の落武者はよく田を苗字にするという。下触村本郷から荒子へ嫁いだ高坂政次氏の祖母が、夫婦して後に下触村向井に移住したので、本村に高坂氏がある。

(赤堀村誌上、赤堀村誌編纂委員会編)